おといねっぷ 議会だより



【 10 月 29 日オープン『 Gallery 0(オー) 』～旧中学校２階～ 】

令 和 ８ 年　第 ３ 回 定 例 会

目　次

第３回定例会 行政・教育行政報告	Ｐ１～Ｐ４
第３回定例会一般質問	Ｐ５～Ｐ６
第３回定例会で可決・承認された議案	Ｐ７～Ｐ９
令和７年度各会計決算審査	Ｐ９～Ｐ10
各種報告 ／ 議会の動き	Ｐ10～Ｐ11

令和８年度 普通交付税額確定
前年度比６９６０万円増
― ふるさと納税は減収傾向 ―

令和８年第３回定例会が９月10日に召集され、村長・教育長の行政報告、議員２名の一般質問の後、条例改正や一般会計補正予算などの議案17件の審議を行い、会期を１日残し、９月14日に閉会しました。

行政報告（要旨）
村長　遠藤　貴幸

●総務課関係

◇地方交付税

令和８年度の普通交付税額が昨年度比で５・２％増（６９６０万９千円増）の13億９９２７万９千円と決定した。脱炭素化推進事業借入や国勢調査人口の反映、道路橋梁費の単位費用見直しなどが増額の主な要因となっている。厳しい財政状況のなか、貴重な財源として効率的な行財政運営に活用する。

◇ふるさと寄付

一般のふるさと納税は８月末時点で２８６件・４６０万３千円となっている。人気返礼品としてホワイトアスパラや各種蕎麦が定着しているものの、前年同期比では減収となった。寄附促進に向けて主要ポータルサイトに「さとふる」を追加したほか、10月からは、保育園留学事業を活用した新たな応援枠組みをスタートさせる予定。なお、企業版ふるさと納税は４件・１７０万円となり、前年同期比で増加となった。

ご寄附は謹んで採納させていただき、ご寄附の趣旨に添い有効に活用させていただく。

◇テレビ共同受信施設光化改修工事の進捗状況

６月に契約締結・着工し、電柱への共架や建柱などの屋外作業を進めている。年内に屋外作業全般を終え、工期である令和９年３月末の引き渡しに向けて順調に進行している。



テレビ共同受信施設光化改修工事作業風景

◇エコ・ミュージアムおさしまセンターの運営状況

４月の開館以来約２４００名の来館があった。展示作品「ＴＨＯ」が11月から東京都美術館の展覧会へ出展されることが決定し、地域の芸術文化を全国へ発信する好機となった。また、喫茶スペース「いないいないばぁー」では、地元農家産のそば茶などの新メニューを追加提供し、滞在環境の充実を図っている。

◇音威子府村交通ターミナル内店舗運営事業の稼働状況

「駅そば」は、当初の想定を大きく上回る売上を記録している。ゴールデンウィークやお盆期間には長蛇の列ができる盛況となり、ＳＮＳ上では「累計販売数２万杯」と話題になるなど大きな反響を呼んだ。鉄道利用者のみならず車で訪れる客も引き付ける新たな賑わいと交流の「目的地」として定着しつつあり、今後も安定した運営に向け事業者と連携を図っていく。



２万杯達成を伝えるＳＮＳ

◇地域活性化・賑わい創出の取り組み

持続可能な村づくりに向け、この夏、多様な取り組みを実施した。７月22日には今年度着任した二地域居住コーディネーターの企画により、移住定住促進や地域交流を目的とした「おとなりカフェ」を開催し、地域おこし協力隊や地域プロジェクトマネージャー等との交流を図った。また、８月15日から17日には「おと高」卒業生を中心に「チニタマルシェ」が開催され、作品展示やワークショップを通じて新しい活気をもたらしてくれた。今後、新たな枠組みである「奥道北協議会」などの関係機関との連携や持続可能な地域づくりに向けた協議を推進する。

●消防支署関係

音威子府消防団は６月に開催された名寄分会消防総合訓練大会の小型ポンプ実践訓練に出場し、日頃の訓練成果を存分に発揮された。また、８月に新潟市で開催された全国消防救助技術訓練指導会には、音威子府消防支署職員３名が北海道代表として初出場を果たした。

９月12日には公民館前特設会場にて「わくわく防災フェスタ」を開催予定。今回は初めて自衛隊名寄駐屯地と共催し、車両搭乗体験やカレーライスの炊き出し訓練などを通じて、住民の防災・防火意識の向上と理解促進を図る。



ロープ渡過にチャレンジする参加者

●住民課関係

◇交通安全・防犯

７月に幼稚園こぐまクラブでの交通安全教室や「夏の全国交通安全運動」での啓発活動を実施し、８月末には交通事故物故者慰霊祭を挙行した。村内の交通事故死ゼロ記録は８月末時点で１３３３日を達成している。



交通事故犠牲者の霊前に献花が行われた

日暮れが早まる秋に向けて、９月21日からの「秋の全国交通安全運動」を通じて、関係機関や交通安全指導員と連携しながら、住民および通過ドライバーへの安全運転徹底の周知を続けていく。

◇健診・予防接種

７月に国保被保険者等を対象とした特定健診・各種がん検診を実施。１００名の受診があった。健診結果に基づき、保健師や管理栄養士による予防アドバイスや栄養指導を実施していく。

また、10月からはインフルエンザ予防接種を開始する予定。ワクチンの供給難が予想されることから、必要数の確保に向け診療所や取扱業者との調整を進めており、積極的な接種予約を呼びかけていく。

●経済課関係

◇農政関係

村内約１２４０ha（18戸）で、そば、青果物、牧草等を栽培。そばは９月中旬より刈取りが開始される見込み。フルーツトマト、サヤエンドウ等の青果物は計画並みの出荷量と安定した単価で推移している。

◇林政関係

村有林の人工造林事業が６月に完了し、今後は保育間伐や枝打ち事業を発注予定。有害鳥獣駆除については、エゾシカ、アライグマ、ヒグマの捕獲を継続している。山に入る時期に合わせて注意喚起を行っていく。



９月30日に出没が確認された本線地区

◇商工観光関係

８月８日に「第４回森と匠の村ふるさと納涼まつり」を開催。東京都清瀬市との文化交流（ラジオ公開収録）や各種パフォーマンス、花火大会などを通じて約５００人の来場者で賑わった。

プレミアム付き商品券事業は、７月より予約・販売を開始した。利用期限は令和９年２月19日までとなっているので、期間内のご使用をお願いする。

◇施設整備・建築関係

村道音威子府神社線神社橋補修工事が９月中旬から着工する他、幸橋の補修設計委託業務や各種点検を進めている。国・道事業では天塩川改修工事として音威子府築堤工事や島見川砂防ダムメンテナンス工事が施工・発注準備段階に入っている。

本線団地敷地内において民間アパートの建築工事が着工し、今年度内の完成が予定されている。

◇上下水道関係

簡易水道事業において、計量法に基づく水道メーター交換工事を９月中に完了させ、10月末の検定完了に向けて進めている。

以上、行政報告とする。



天北川に架かる幸橋（村道上音威子府本流線）

教育行政報告（要旨）
教育長　髙橋　利玄



●学校教育関係

夏休み中、児童生徒は大きな事故もなく、今日も元気に教育活動に取り組んでいる。

◇幼稚園教育関係

園児３名が元気に過ごしている。７月７日には「七夕会」を開催し、短冊に願いを込めた。９月４日の秋の親子遠足では、西興部村の「もりの美術館・木夢」を訪問し、木製の遊具体験を楽しんだ。９月26日には幼児センター運動会を予定しており、行事を通じて心身のたくましい成長を図っていく。

◇義務教育関係

７月11日に休日参観・ＰＴＡ親子レクリエーションが行われ、児童生徒・保護者・教職員がスポーツ交流等を通じて親睦を深めた。また、７月８日に旭川市で開催された「少年の主張上川地区大会」には、中学３年の大野流聖さんが「一人だから見えるモノ」と題して力強く堂々と発表を行った。

９月19日には学芸祭の開催が予定されており、一人ひとりが自分で考え役割に責任が持てる取り組み、仲間と協力する力を養うことを目指し、児童生徒および教職員が練習と準備に取り組んでいる。

学校運営協議会の取り組みでは、幼・小・中・高の連携事業として作成した「交通安全キーホルダー」を、７月15日に役場、郵便局、信用金庫などへ手渡し、子どもたちの交通安全への願いを地域へ届けてきた。また、８月27日には名寄市立大学から講師を招き、「子どもに伝わる声掛けのコツ」と題した研修会を開催し、障がいの有無にかかわらず子どもに対する適切な接し方や声掛けについて理解を深めた。



学校間連携事業で制作したキーホルダー

◇高等学校教育関係

生徒募集活動の一環である「木の手づくり展」を旭川と札幌で開催し、両会場あわせて約４５０名に来場いただき、作品展示や個別相談を通じて本校の特色ある教育活動を広く伝えた。

７月25日・26日の学校祭では、舞台発表、工芸品販売、露店など趣向を凝らした企画を行い、悪天候の中でも保護者や村民、卒業生らが多く来場し盛況となった。

８月26日から28日にかけて美深町で開催された高文連道北支部美術展には、美術部49名・工芸部21名が出展し、入選26点・佳作11点という優れた成績を収めることができた。入選作品は10月７日から釧路市で開催される全道高文連美術展へ出展される。

全国から生徒を募集する公立学校合同説明会「地域みらい留学フェスタ」が大阪と東京で開催され２会場で70組の親子と個別相談を実施した他、埼玉県の「彩の国進学フェア」にも出展してきた。在校生の保護者にも参加いただき、親の視点から体験談等を伝えていただくことで本校の魅力をＰＲできた。

９月26日開催予定の一日体験入学は、受入上限の80名の予約が埋まった。今後も、魅力ある学校づくりと丁寧な生徒募集活動に努めていく。

９月９日から３日間、東海大学札幌キャンパスで２年生を対象とした「デザインスクール」が行われ、大学教官による特設カリキュラムを受講し、美術・工芸の資質向上とキャリア形成を図る貴重な経験となった。

●生涯学習関係

◇社会教育関係

「フィールドくらぶ」は、５月30日の「枝打ち体験・伐採見学」に続き、８月22日には川で水中生物を捕獲する「ガサガサ体験」を実施。９月12日には「わくわく防災フェスタ」の運営手伝いを予定している。

放課後子ども教室の８月末時



水中生物を観察する様子（ガサガサ体験）

点での利用延べ人数は５６０人となった。夏休み期間中は木遊館での木工製作、複合施設「ときわ」入居者とのゲーム交流、土里夢の会とのパン作りなど、地域の関係団体や施設と連携した安全で有意義な交流プログラムを展開してきた。

７月24から26日まで、ＮＰＯ法人きよせラボの主催により、東京都清瀬市の「環境・川まつり」への参加を中心に、関東圏の体験施設やミュージアムを訪問する事業を実施した。都市部での環境保全や地域づくりの取り組みを体験するとともに、故郷の魅力を自らの言葉で発信する経験を積むことができ、また、各施設訪問を通じて食の歴史と先進的なデザイン思想に触れる貴重な機会となった。さらに、７月29から31日にかけては、同法人と教育委員会共催により、小学３年生以上を対象とした利尻島で２泊３日のキャンプを実施した。親元や住み慣れた地域を離れ、自然の中で異学年の仲間と協力して課題を解決する「協同問題解決能力」や自主性・協調性を養い、成長を実感する機会となった。本事業の実施にあたり、利尻町教育委員会の皆様に多大なるご協力をいただいた。この場を借りてお礼申し上げる。


柳瀬川でアクティビティを体験（環境・川まつり）


路線バスに乗車し「環境・川まつり」会場へ移動


テント設営に悪戦苦闘（利尻島キャンプ）


利尻島と言えば“ウニ” ウニの殻むき体験！

◇社会体育関係

７月５日に村民運動会を開催し、村民が一堂に会して、運動を通じた地域の交流を図った。地元企業や工事関連企業の皆様から多くの景品をご提供いただいたことに、この場を借りて御礼申し上げる。今年は、地域活性化起業人の方々のご参加もあり、交流が広まり一定の成果が得られたと考えている。来年も天候に恵まれた中で開催できることを願っている。

夏休み中の12日間、規則正しい生活習慣と健康維持を目的に、夏休みラジオ体操を実施した。１日平均32・３人、延べ４２０人の参加があり、村民の生活に定着してきたと思われる。来年度も多くの地域住民の参加を期待している。

以上、教育行政報告とする。

議会傍聴してみませんか？

村議会本会議は、受付で名簿に住所・氏名を記入するだけで簡単に傍聴できます。ただし、傍聴規則は必ず守っていただきます。

定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)あり、日程はその都度、回覧等でお知らせしています。

ぜひ議場へお越しください。

令和８年第３回（９月）定例会　一般質問

「ＪＲ黄色線区について」

質問者　杉山 均 議員
答弁者　遠藤村長



杉山議員

新聞報道された「鉄路の必要性については最優先課題ではない」という見出しが、一部の住民に「鉄道不要論」と誤解されていると思う。併せて、「ない袖は振れない」というコメントも掲載されていた。発言の真意は。

村　長

村民の生活サービス向上と将来設計を優先し執行しているため「最優先課題ではない」と答えた。軽視する意図はない。また、莫大な路線維持費の負担は村の財政上不可能であり、維持費のために住民サービスを削るのは本末転倒という意味で「ない袖は振れない」と発言した。

杉山議員

通学・通院、長距離大量輸送・低環境負荷といった優位性から、モータリゼーション下でも鉄路は貴重な足と考えるが村長の考えをお聞きしたい。

村　長

同感である。全世代の移動手段や物流、２０２４年問題（トラックドライバー不足）の観点からも鉄路の可能性や価値は高い。保線作業等の頻度低下は、ＪＲの経費削減や人手不足という現状も影響しているのではと推察している。



中学生が傍聴する中で一般質問が行われた

杉山議員

１９８６年の国鉄国会の付帯決議や地方財政再建促進特別措置法の趣旨を無視し、自治体に負担を強いるのは間違いだ。国が主体的に責任を持つべきでは。

村　長

費用負担や決定は国が行うべきという思いは同じ。この間、沿線自治体で協議してきたが、１自治体の首長としては、自村の立場を超える議論に限界を感じた。沿線自治体だけでは決断できないため、国が明確な指針を示すべきと考えている。

杉山議員

国鉄の分割民営化がそもそも間違っていた。国鉄の債務返済はＪＲ４社の儲けで返済できたと、株式配当を見ればわかる。たばこ税等を徴収し、それらを返済に充てているという構造的課題も含め、首長間で認識を共有し、国鉄分割民営化の見直しは無理だとしても、これらを裏付けとして、国の責任を強く求めるべきだと考えるがいかがか。



13 時 16 分音威子府駅発の普通列車（稚内発名寄行）

村　長

この場で国の施策の正否を議論することは控えるが、抜本的解決には程遠いと感じている。責任追及に留めず、国民の足として国が主体的な施策を出すべき。同じ轍を踏まないよう、道内や他地域の黄色線区とも手を取り合い鉄路維持に取り組む。

＊一般質問・答弁は中略・要約しています。

令和８年第３回（９月）定例会　一般質問

「コミュニティ・スクールについて」

質問者　玉田　健　議員
答弁者　髙橋教育長

玉田議員

「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」について、改めて、目的や効果等をお聞かせいただきたい。

教育長

学校・保護者・地域が目指す子ども像を共有し、一緒に育てる「地域とともにある学校」をつくることが目的。従来の学校任せにせず、地域の方針承認や課題共有により、地域全体で応援する大きな力が生まれる。

玉田議員

音威子府村で制度が始まってからの経過、現在の組織状況や活動実績は。



教育長

令和２年設置だが、コロナ禍で稼働実績がなく形骸化していた。そのため、令和７年度に大幅再編した。教育推進協議会や高校の評議委員制度を統合し、幼少中高連携（交通安全キーホルダー作成など）を引き継いだ。おといねっぷ美術工芸高校も加わり、村内全校が一体となったことが大きな成果。

玉田議員

委員の任期が１年のため毎年新たな人が選任されるが、教育委員会から事前に丁寧な説明を行い、制度を深く理解した上で力を発揮できる体制が必要と考えるがいかがか。

教育長

懸念のとおりである。新任の委員には丁寧な事前説明を行い、目指すビジョンを共有した上で参加してもらうよう手厚くサポートしていきたい。

玉田議員

議会として視察した清瀬市では「学校支援本部」のボランティアや地域コーディネーターが中心となり、協議会と連携していた。現状、本村の仕組みでは教員が中心で負担になっているため、地域のボランティアを巻き込んだ体制を作ってはどうか。

教育長

現状の仕組みでは、教員の負担が大きくなってしまうため、地域コーディネーターの配置や組織体制の見直し、村が契約している「ＮＰＯ法人きよせラボ」のノウハウも直接活かし、身の丈に合った活動体制を検討したい。



高校生が小学生に木工の手ほどき
（学校間連携事業）

玉田議員

教員の負担軽減（働き方改革）、児童生徒減で苦しむＰＴＡのサポート、工芸高校の専門性や外部講師を活用した授業など、コミュニティ・スクールを通じた前向きな課題解決への思いは。



令和８年度の学校運営協議会総会議案書

教育長

地域人材の活用やサポート充実は、結果として教員の負担軽減や働き方改革に直結する。高校が加わった強みを活かし「高校生が小中学生をサポートする世代間交流」も進め、清瀬市の知見も生かして地域で子どもを育てる環境を作っていきたい。

＊一般質問・答弁は中略・要約しています。

可決・承認された議案

【議案第43号】
音威子府村教育委員会委員の任命について

教育委員会委員の任期満了に伴い、菊池 聡 氏の再任について、議会の同意を求めるもの。

（原案どおり同意）

【議案第44号】
音威子府村の休日を定める条例の一部改正について

国や道、関係機関との休日の違いによる業務連絡の滞りを防ぎ、行政サービスの利便性の向上と村職員の無理のない働き方を推進するため、年末年始の休日を改めるもの。

（原案どおり可決）

【議案第45号】
音威子府村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

【議案第46号】
音威子府村地域交流センター設置条例の一部改正について

【議案第47号】
音威子府村福祉交流拠点地域複合施設設置条例の一部改正について

議案第45・46・47号は、議案第44号の改正に伴い、関連条項の一部を改正するもの。

（原案どおり可決）

【議案第48号】
音威子府村立音威子府小中学校開放教室の無償貸与について

地方自治法第２３７条第３項および第２３８条の４第２項第４号の規定により、議会の議決を求めるもの。

貸付物件：音威子府小中学校
ミーティングルーム
貸付団体：㈱カヤックメガ
貸付理由：主人髙の教室として
貸付期間：令和８年９月21日
～令和９年９月20日

（原案どおり可決）

【議案第49号】
令和８年度音威子府村一般会計補正予算（第２号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ２８２１万３千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ30億９５２１万３千円とするもの。



◎主な補正内容

【歳入】
・地方特例交付金
１５１万９千円
・地方交付税
１５９２万４千円
・社会保障・税番号制度
システム整備費補助金
66万円
・物価高騰対応重点支援
地方創生臨時交付金
１２４万円
・地域診療情報連携推進費補助金
１５４万円
・企業版ふるさと納税
３００万円
・基金繰入金
△７９７万円
・教育施設整備事業債
１２１０万円

【歳出】
・人事給与システム導入費
３３０万２千円
・地域おこし協力隊報酬等
△６０８万５千円
・エコミュージアムおさしまセンター
落下防止金物設置修繕
66万円
・副業型地域活性化起業人委託料
１５００万円



☆年末年始の音威子府村役場の開庁日が変わります☆

これまで、役場の年末年始は…

12/29	30	31	1/1	2	3	4	5	6	7
通常業務		年末年始休業						通常業務	

…でした。

この度の「音威子府村の休日を定める条例の一部改正」によって、

今年の 12 月から…

12/29	30	31	1/1	2	3	4	5	6	7
通常業務	年末年始休業						通常業務		

…となります。

これに伴い、「地域交流センター」と福祉交流拠点地域複合施設ときわ内の「地域交流コミュニティスペース」の年末年始の休館も同様となる条例改正が行われました。

・地域おこし協力隊事業所等
雇用型隊員業務委託料
△２２００万円
・地域おこし協力隊
活動拠点等整備及び
定住環境整備備品購入費
△60万円
・奥道北協議会負担金
50万円
・子育て世帯・高齢者世帯
物価高騰生活応援給付金
１１８万円
・住民基本台帳システム
改修業務委託料
66万円
・障がい者医療費負担金等に
係る国庫及び道費償還金
６６６万８千円
・医療費助成オンライン
資格確認改修事業委託料
３０８万円
・乳幼児等医療費助成
60万円



・診療所管理運営助成金
３００万円
・簡易水道事業会計繰出金
２００万円
・農業集落排水事業会計繰出金
66万円
・学校給食費軽減負担金
51万５千円
・高等学校受変電設備改修工事
１２１０万円
・チセネシリ寮食糧費
２５０万円
・チセネシリ寮膨張タンク安全弁
及びオイルポンプ修繕費
１１８万２千円
・地域おこし協力隊活動負担金
２１０万円
（原案どおり可決）

【議案第50号】
令和８年度音威子府村国民健康保険特別会計補正予算（第１号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ２８２万６千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ９８０２万６千円とするもの。

◎補正内容
【歳入】
・繰越金
２８２万６千円
【歳出】
・予備費
２８２万６千円
（原案どおり可決）

【議案第51号】
令和８年度音威子府村介護保険特別会計補正予算（第１号）について

保険事業勘定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ５５７万８千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ８５３７万８千円とし、サービス事業勘定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ２４１万２千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ３７６１万２千円とするもの。

◎補正内容
≪保険事業勘定≫
【歳入】
・繰越金
５５７万８千円
【歳出】
・予備費
５５７万８千円
≪サービス事業勘定≫
【歳入】
・繰越金
２４１万２千円
【歳出】
・予備費
２４１万２千円
（原案どおり可決）

【議案第52号】
令和８年度音威子府村後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ２３８万７千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ２１４８万７千円とするもの。

◎補正内容
【歳入】
・繰越金
２３８万７千円
【歳出】
・予備費
２３８万７千円
（原案どおり可決）

【議案第53号】
令和８年度音威子府村簡易水道事業会計補正予算（第１号）について

収益的収入および支出第１条収入第１款資本的収入に２００万円を追加し９５５万３千円に、支出第１款資本的支出に２００万円を追加し、２０２５万５千円にするもの。

◎補正内容
【資本的収入】
・一般会計繰入金
２００万円
【資本的支出】
・取水施設原水濁度計購入
２００万円
（原案どおり可決）

【議案第54号】
令和８年度音威子府村農業集落排水事業会計補正予算（第２号）について

収益的収入および支出第１条収入第１款農業集落排水事業収益に66万円を追加し５７６１万８千円に、支出第１款農業集落排水事業費用に66万円を追加し５９５２万７千円にするもの。

◎補正内容
【収益的収入】
・一般会計繰入
66万円
【収益的支出】
・配管修繕等費用
66万円
（原案どおり可決）

【意見書第３号】
「国土強靭化に資する社会整備等に関する意見書（案）」の提出について

提出者　玉田　健
賛成者　小西邦広
（原案どおり可決）

【意見書第４号】
「軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書（案）」の提出について

提出者　杉山　均
賛成者　藤吉秀明
（原案どおり可決）

【発議第４号】
閉会中の調査の申し出について

閉会中に、住民福祉（子育て支援・医療・介護・福祉）の現況と課題の調査および人口減少問題に関する施策の検証と課題整理について調査が必要なため。
（原案どおり可決）



令和７年度一般会計など全６会計を決算認定

９月定例会本会議において、令和７年度一般会計ほか５会計の決算審査が行われ、全６会計が全会一致で認定となりました。

【令和７年度各会計の決算状況】

会　計	歳入（収入）	歳出（支出）
一般会計	2,868,072,624 円	2,761,045,388 円
国民健康保険特別会計	76,160,748 円	70,978,123 円
介護保険特別会計（保険事業勘定）	80,828,703 円	71,432,333 円
介護保険特別会計（サービス事業勘定）	31,053,114 円	28,440,932 円
後期高齢者医療特別会計	18,092,069 円	15,414,521 円
簡易水道事業会計		
収益的 収入及び支出	42,413,433 円	40,487,185 円
資本的 収入及び支出	22,781,000 円	33,606,251 円
農業集落排水事業会計		
収益的 収入及び支出	41,411,437 円	53,146,496 円
資本的 収入及び支出	17,517,000 円	18,034,549 円

【主な質疑内容（要約）】

◎行かない窓口プロジェクトの利用実績について

質問　どのくらいの利用実績があるのか伺いたい。

答弁　公民館の利用申請を中心に約１３０件の申請があった。その他、村公式ＬＩＮＥでの情報発信は４００件以上であった。

質問　より良いものにするために、利用範囲拡充の考えは。

答弁　皆さんが必要とする機能、住民票の申請などは、今後、拡充させていくことで進めている。

音威子府村
公式ＬＩＮＥ
二次元バーコード
是非、ご登録を！

◎外部民間人材との交流について

質問　地域活性化起業人などを多く起用しているが、どんな人が何をしているのか分からないという声が多い。住民との接点を作る機会が必要と思うがいかがか。

答弁　そういった声があるのは承知しており、小規模ながら交流の機会は作ってきた。しかし、不足している認識もある。今後、何らかの機会を創出したい。

◎医療従事者住宅の入居状況について

質問　現在、空き部屋は何戸あるのか。また、今後の入居予定はあるのか伺いたい。

答弁　現在の空き部屋は２戸。今後の入居については検討段階だが、軽微な修繕を行い、入居してもらうよう進めたい。

◎観光協会の独立について

質問　これまで商工会に観光協会の運営を担ってもらってきたが、現在は、観光を担う地域おこし協力隊員も着任している。今後の観光協会のあり方について考えを伺いたい。

答弁　以前より検討すべき課題だとの認識はあり、村を訪れてくれた人の滞在時間を増やすよ

うな仕組みを観光協会と作りたいと思っていたが、現状の体制では厳しかった。観光担当の地域おこし協力隊員がいることからも、今後、商工会・観光協会・行政の三者で検討したい。

質問 この間、観光協会への補助金は約１００万円。この金額で人件費も含めて運営というのは、無理だとしても、今後、観光協会として独立できるよう、しっかりと検討していただきたい。

答弁 ご意見として受け止める。人材の確保も含め、実現に向け検討していきたい。

◎短時間労働に従事する人材の確保について

質問 公共施設の清掃など、短時間労働を少額の時間単価で人材確保することが難しい実態を聞く。今のようにそれぞれの施設等で１人ずつ雇用するのではなく、総合的に考え、それなりの対価を支払うようにしなければ、今後、厳しいのではないか。

答弁 職員も難儀しているところ。１カ所だけに従事すると賃金が少ない、複数組み合わせると時間が合わない、賃金を担保するような形態にすると対応できる人がいない、時間を少なくすると賃金が少ない、と断られるといった状況がある。考えていない訳ではないので、いろいろ試して確保していきたい。

要望 検討されている状況はわかった。単純に単価を上げるということではなく、総合的に検討していただきたい。

◎旭川工芸センターとの連携事業について

質問 令和７年度に協定を締結し、昨年度は２回ほど指導に来てもらっていたと思うが今年度の実績は。

答弁 今年度においては、まだ実績がないが、これから交流事業ということで講師を派遣していただき、技術検定受験にあたっての技術を学ぶ予定になっている。

◎筬島地区の水質改善状況について

質問 昨年、筬島地区で飲用水の水質基準値の悪化や濁りが出たため、ろ過装置を設置したが、その後の水質はどうか。

答弁 昨年11月末に膜ろ過装置を設置して以降、水質基準値を大幅に下回っている。今後も適切な維持管理に努めていく。



㊤筬島地区水道施設建屋
㊨導入されたろ過装置

音威子府村
Official
note
二次元バーコード

全道町村議会議員研修会へ参加

北海道町村議会議長会が主催する全道町村議会議員研修会が７月２日に札幌コンベンションセンターで開催され、全道各地から約１９００名の議会議員が一堂に集まり、本村からは５名全員で参加しました。

本研修会は毎年開催されており、今年度の基調講演では、関東学院大学法学部教授・牧瀬 稔氏から「地方議員への12の政策アイデアから人口維持を目指す実践事例」と題した講演、ジャーナリスト・須田慎一郎氏からは「どうなる政治・経済～日本再生のために何が必要か～」と題した講演をいただきました。

牧瀬氏からは、人口減少が進む中で地域をどのように持続させていくか、そのヒントについて、具体的なデータと事例に基づいてお話いただきました。また、議会議員の仕事は「住民福祉の向上であり、住民の幸福感を増やすこと」である旨も述べられていました。

一方、須田氏からは、現政権の裏話から今後の日本経済などについて、幅広くお話をいただきました。

それぞれの第一線で活躍されている講師から、貴重な講演をいただくことができました。



会場のコンベンションセンターにて

上川北部市町村議会議長会 ９月定例会を開催

上川北部の市町村議会議長で構成する上川北部市町村議会議長会（会長・小川雅昭 幌加内町議会議長）の９月定例会が10月14日に本村で開催され、９市町村の議会議長が集まり、議題の協議や情報交換を行いました。

上川北部市町村議会議長会の定例会は年３回、北部管内を持ち回り開催されており、本村での開催は、令和５年１月以来、３年ぶりの開催となりました。今定例会では、事務局提案の議題協議の他、各議会における取り組み等の情報交換として、美深町議会と名寄市議会から「議員報酬見直し」について情報が提供され、意見が交わされました。

会議終了後には研修を行い、ＮＰＯ法人きよせラボの柿添理事長を講師に、「きよせラボの挑戦と、音威子府村から広がる地域連携の可能性」と題した講演をいただき、同法人の本村での取り組み事例と併せて、教育をツールとした上川北部エリアでの地域連携の可能性についてお話をいただきました。



天塩川温泉・研修室にて協議・情報交換が行われた

議 会 の う ご き

【 7月 】			
２日～　３日	北海道町村議会研修会	札 幌 市	(全 議 員)
５日	村民運動会	村　　内	(議　長)
１３日	例月出納検査	役　　場	(関係議員)
１９日	ダウン・ザ・テッシ-オ-ペッ 2026 閉会式	村　　内	(議　長)
２４日～２６日	きよせ環境・川まつり	東京都清瀬市	(議　長)
２８日	全員協議会	役　　場	(全 議 員)
【 8月 】			
１２日	例月出納検査	役　　場	(関係議員)
１７日	上川教育研修センター組合議会第２回定例会	旭 川 市	(議　長)
１８日～１９日	議会広報研修会	札 幌 市	(議員２名)
２４日	上川北部消防事務組合議会第２回臨時会	名 寄 市	(関係議員)
２５日	全員協議会	役　　場	(全 議 員)
２８日	交通事故物故者慰霊祭	村　　内	(議　長)
【 9月 】			
２日	行政常任委員会	役　　場	(全 議 員)
１０日～１４日	村議会第３回定例会	議　　場	(全 議 員)
１６日	例月出納検査	役　　場	(関係議員)
【１０月】			
８日	北・北海道高速交通フォーラム	美 深 町	(副 議 長)
８日～９日	上川管内町村議会議長研修会	鷹 栖 町	(議　長)
１３日	例月出納検査	役　　場	(関係議員)
１４日	上川北部市町村議会議長会（９月定例会）	村　　内	(正副議長)
２３日	上川町村議会議員研修会	当 麻 町	(全 議 員)
３０日	北海道議会議員 今津ひろふみ 道政報告会	士 別 市	(議　長)
３１日	文化祭芸能発表	村　　内	(議　長)

第４回定例会 １２月中旬 開会予定